

山鹿市総合戦略等に関する  
市民アンケート調査結果  
(概要版)

令和5年3月

山鹿市総合戦略課

# 市民アンケート調査の概要

## 1. アンケート調査の目的

総合戦略は、年度ごとの進捗管理を行い、適宜変更、見直しを行いながら総合戦略に掲げた目標の達成を目指している。進捗管理の中で、担当課による内部検証とあわせ、市民の認知度や満足度を把握し、次年度以降の戦略に反映させることを目的としている。

## 2. 調査対象

山鹿市在住の市民を無作為に抽出した3,000人

## 3. 調査事項

- (1)ご自身の現在の状況について(問1～問5)
- (2)山鹿市の現状について(問6～問9)
- (3)人口政策について(問10～問11)
- (4)経済政策について(問12～問13)
- (5)山鹿市総合計画について(問14～問15)
- (6)山鹿市に対する考えについて(問16～問20)

## 4. 調査期間

令和5年1月6日(金)～1月31日(火)

## 5. 調査方法

郵送による調査票の配布

郵送またはインターネットによる回答

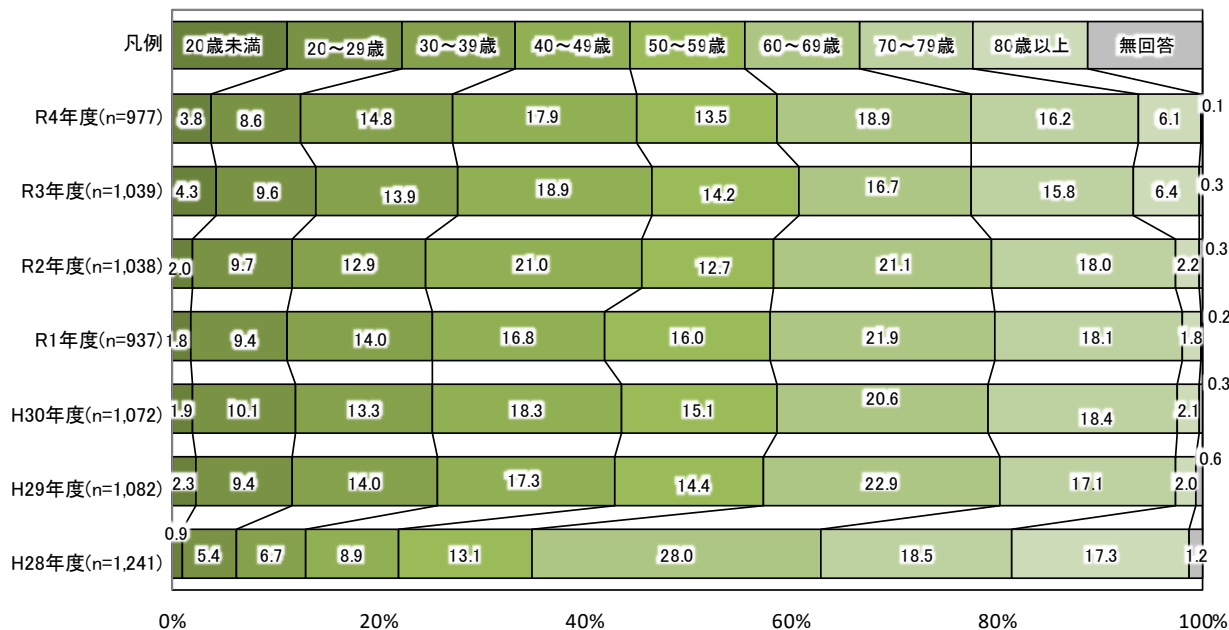
## 6. 回収状況

回答方法	配布部数	有効回収数	有効回収率
郵送	3,000	760	25.3%
インターネット		215	7.2%
計	3,000	975	32.5%

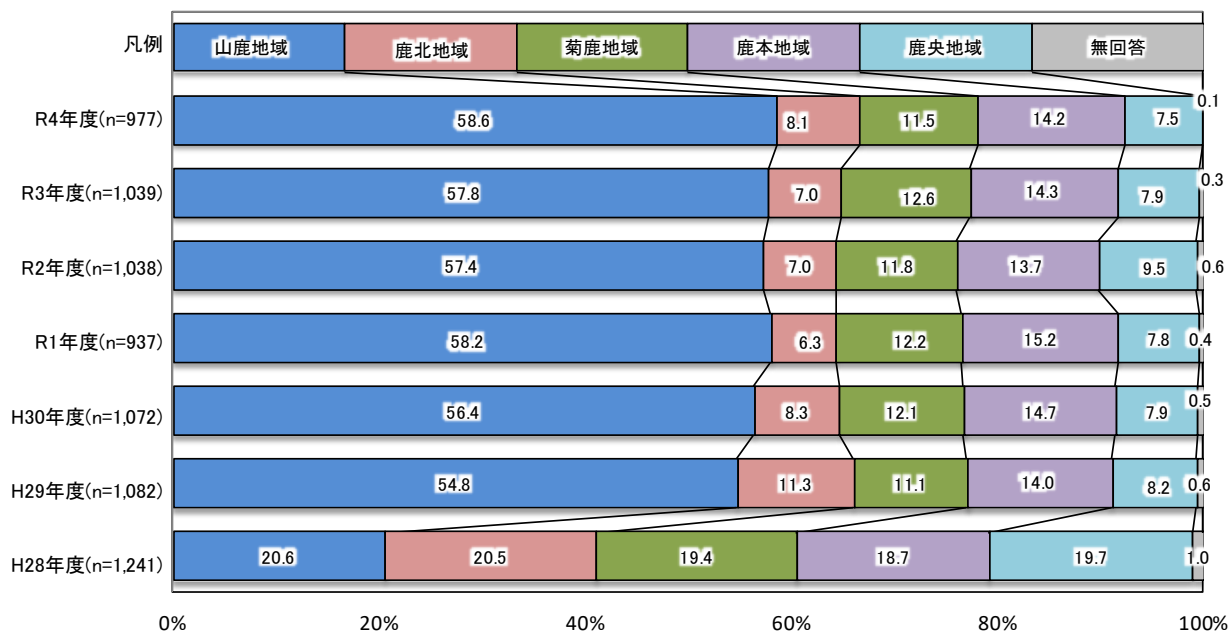
## 回答者ご自身の現状

- ・ 回答者の性別割合は、「男性」が34.2%、「女性」が64.6%となっている。R3年度以前と比べ「女性」の割合が高くなっている。
- ・ 地域別では、「山鹿地域」が約6割を占めている。
- ・ 過去調査と比較した地域別構成比は、H29年度以降ほとんど変わらない。

### 【年代別】



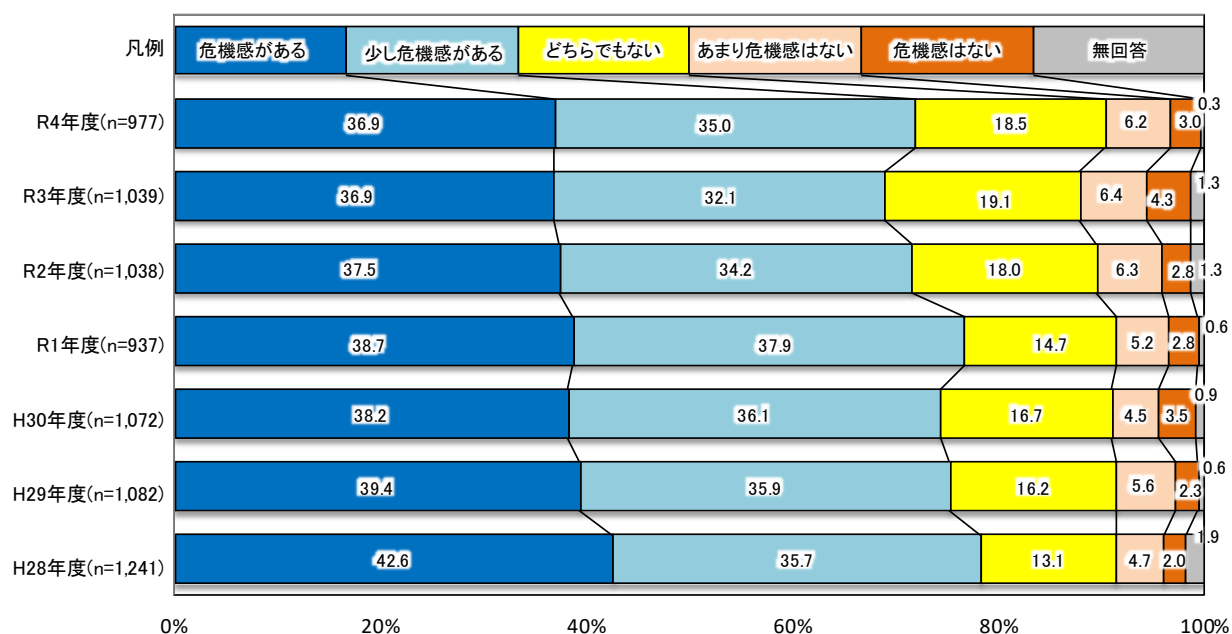
### 【地区別】



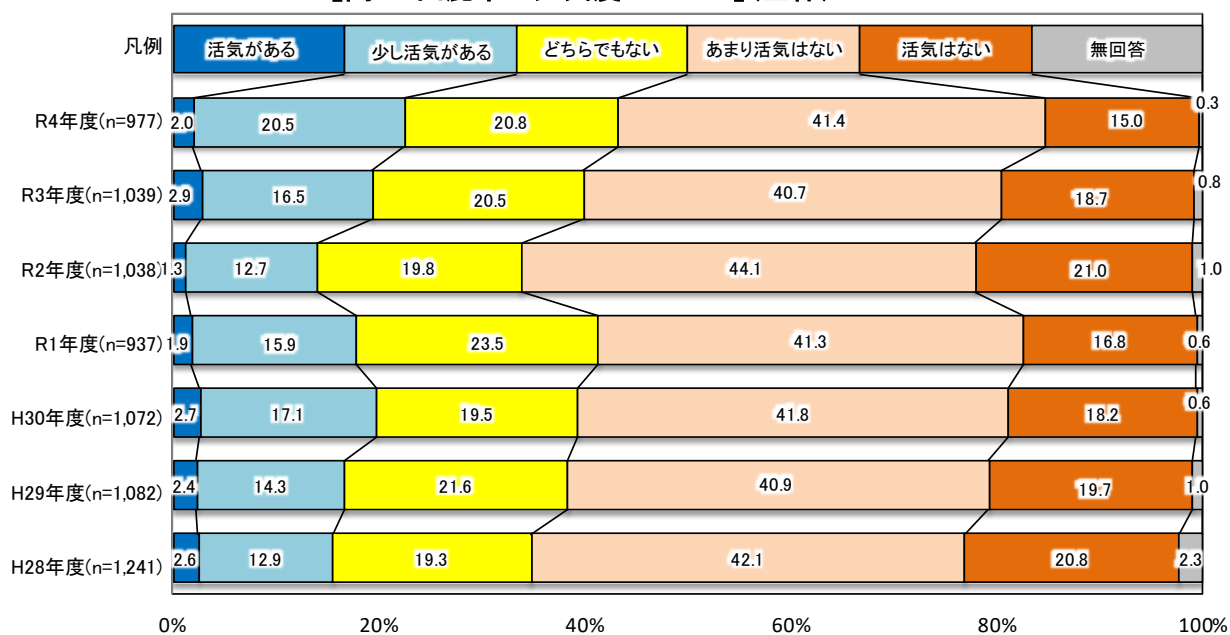
## 山鹿市の現状について（人口減少、元気度）

- 山鹿市の人口減少については、「危機感がある」が 36.9%、「少し危機感がある」が 35.0% となっており、約 7 割が危機感を感じている。
- 山鹿市の元気度については、「活気がある」「少し活気がある」の合計 22.5% に対し、「活気はない」「あまり活気はない」の合計は 56.4% となっており、活気がないと感じている割合が 5 割を超えて高くなっている。

【問 6 山鹿市の人口減少について】(全体)



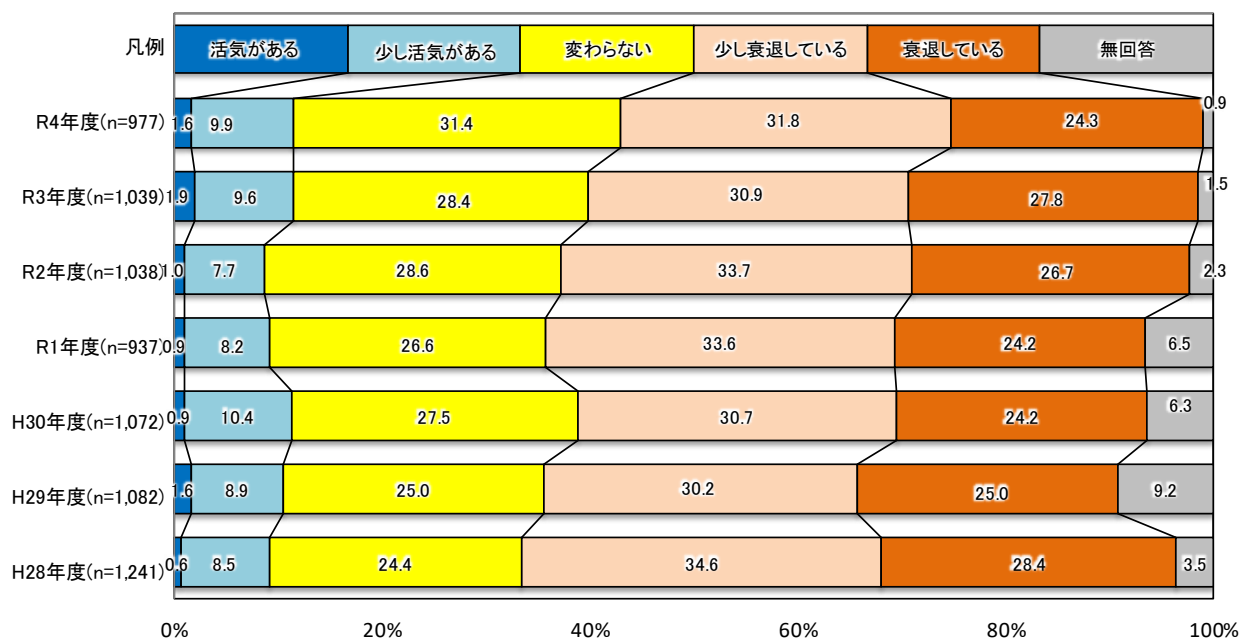
【問 7 山鹿市の元気度について】(全体)



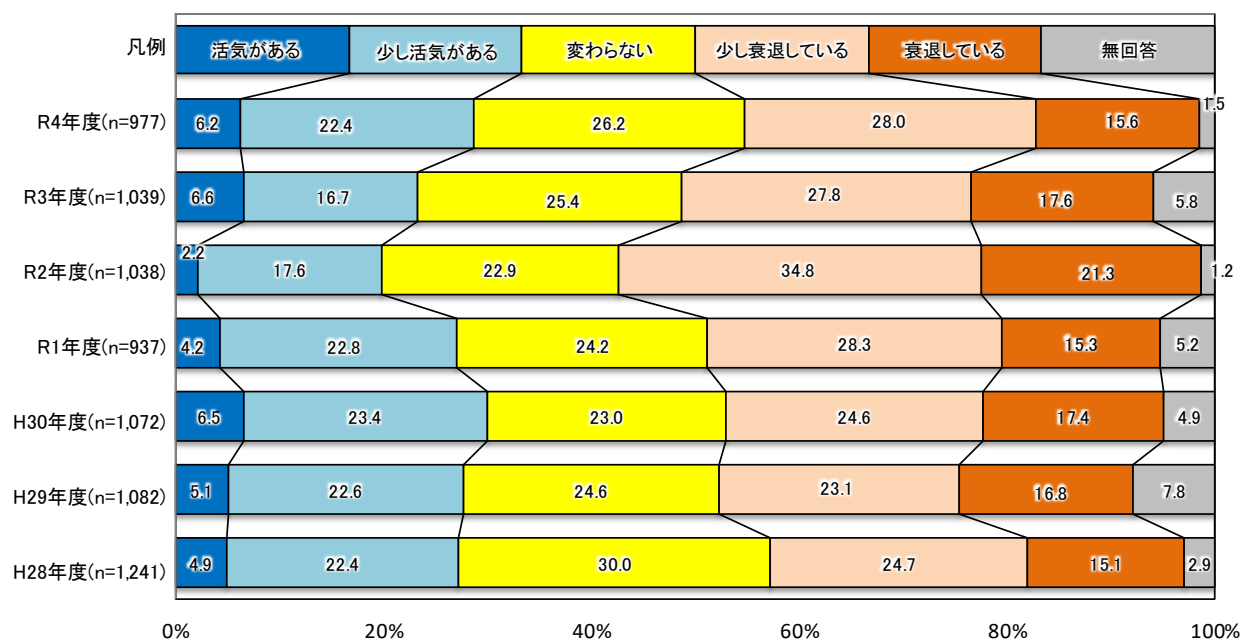
## 山鹿市の現状について（農林業、観光産業）

- ・ 農林業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は11.5%で、「衰退している」「少し衰退している」の合計は56.1%となっている。
- ・ 観光産業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は28.6%、「衰退している」「少し衰退している」の合計は43.6%となっている。

### 【問 8 山鹿市の基幹産業である農林業について現状をどう思われますか】(全体)



### 【問 9 山鹿市が力を入れている山鹿灯籠などの観光産業について現状をどう思われますか】(全体)

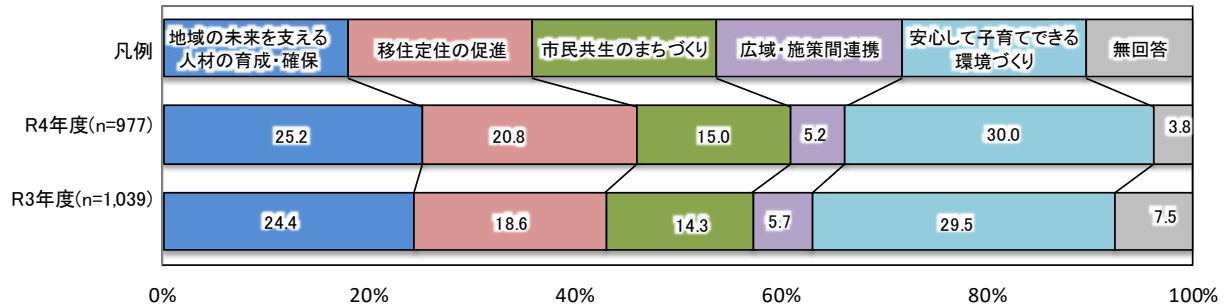


## 人口政策について（充実して欲しい取組）

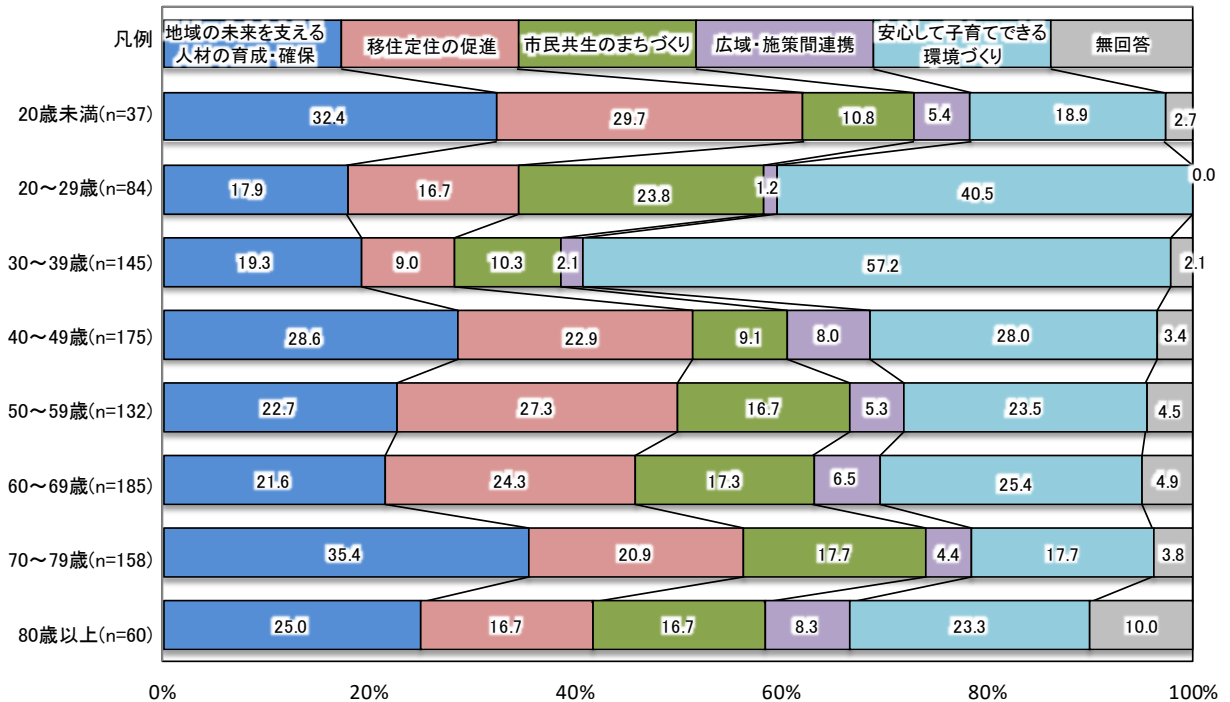
### 問10 山鹿市総合戦略における、人口政策でもっとも充実して欲しい取組について

- ・ 人口政策で充実して欲しい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が30.0%と最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」25.2%、「移住定住の促進」20.8%となっている。R3年度と比較しても大きな差は認められない。
- ・ 年代別では、20代、30代、60代では「安心して子育てできる環境づくり」の割合が最も高い。20歳未満、40代、70代、80歳以上でも「地域の未来を支える人材の育成・確保」の割合が最も高く、50代は「移住定住の促進」の割合が最も高い。

【問10 山鹿市総合戦略における、人口政策でもっとも充実して欲しい取組について】(全体)



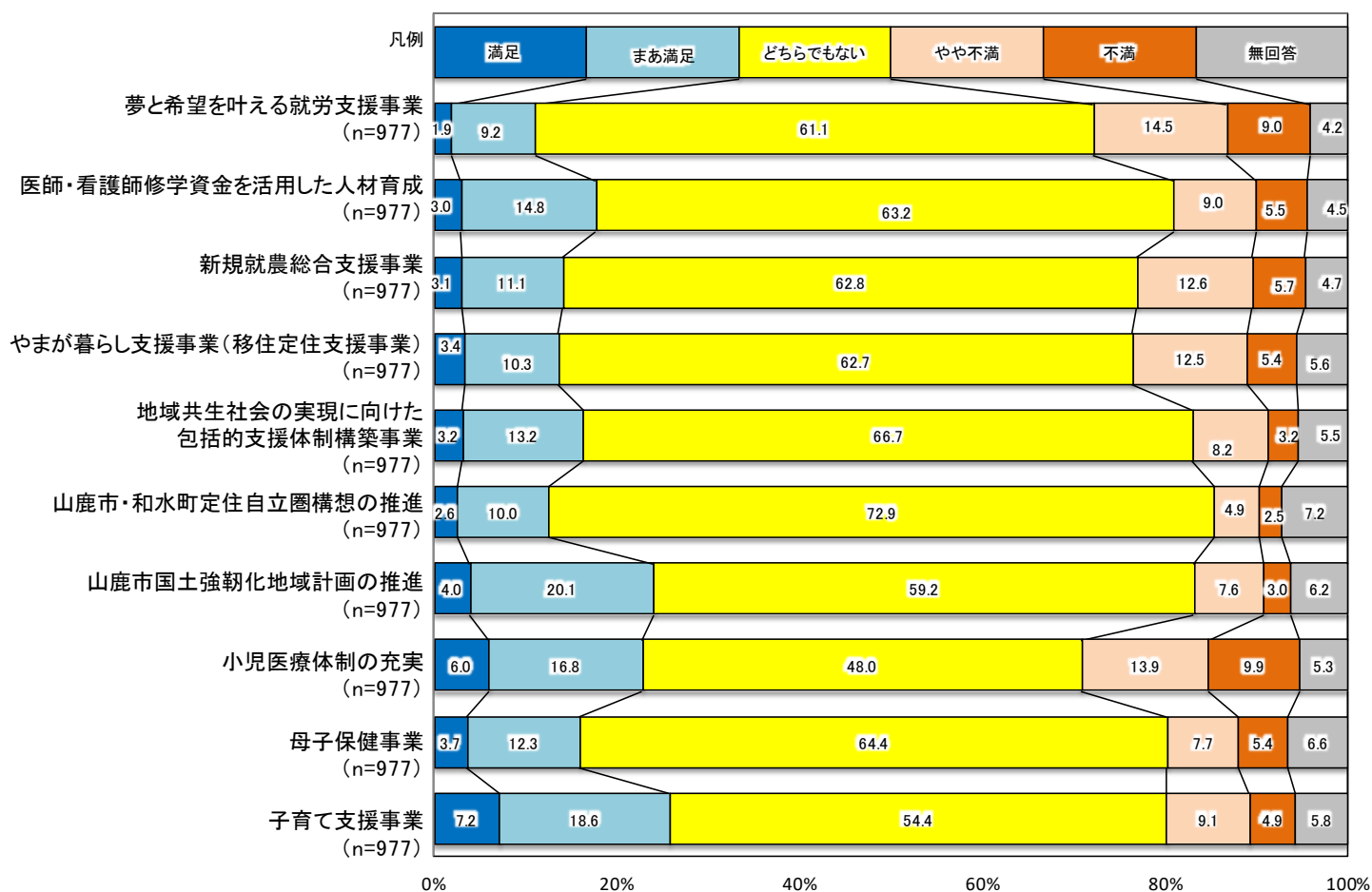
【問10 山鹿市総合戦略における、人口政策でもっとも充実して欲しい取組について】(年代別)



## 人口政策について（満足度と重要度）

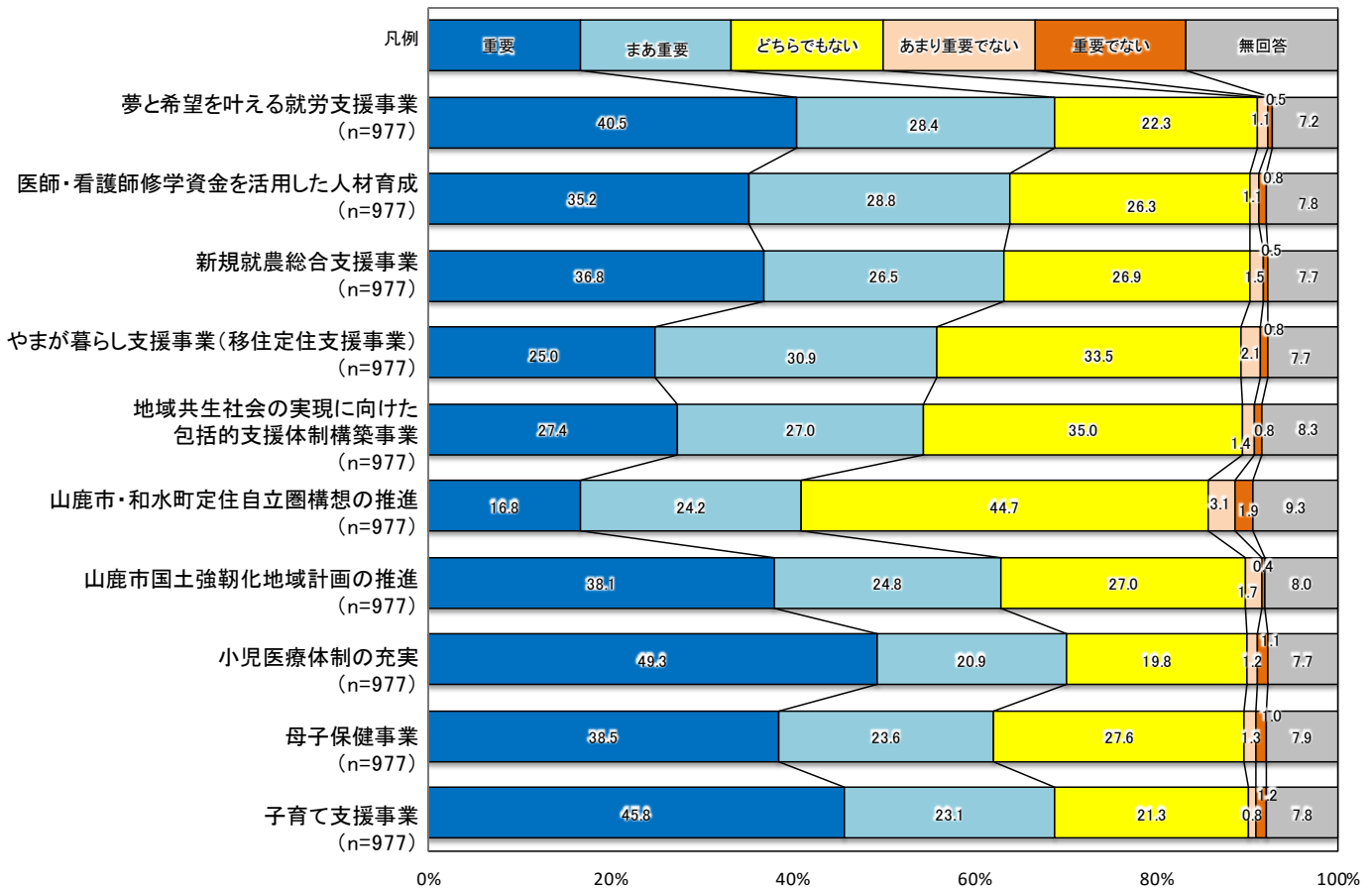
- 人口政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子育て支援事業」の25.8%となっており、これに「山鹿市国土強靱化計画の推進」24.1%、「小児医療体制の充実」22.8%が続く。「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「小児医療体制の充実」の23.8%となっており、これに「夢と希望を叶える就労支援事業」23.5%、「新規就農総合支援事業」18.3%が続いている。

【問 11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の満足度】



- ・ 人口政策の重要度について、「重要」「まあ重要」の合計が最も高いのは「小児医療体制の充実」の70.2%となっており、これに「夢と希望を叶える就労支援事業」と「子育て支援事業」の68.9%が続いている。

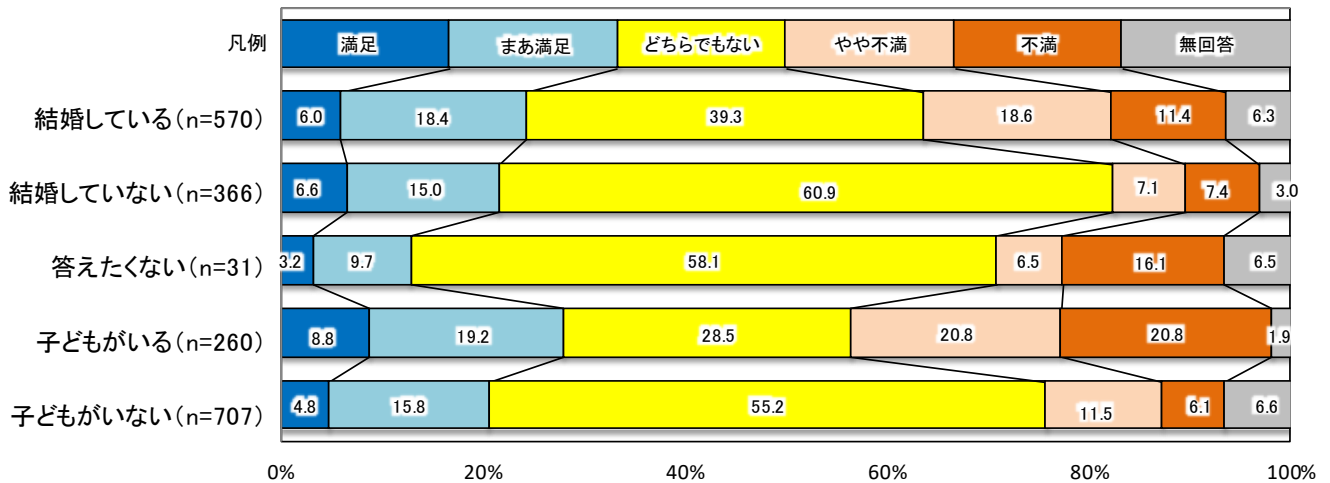
【問 11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の重要度】





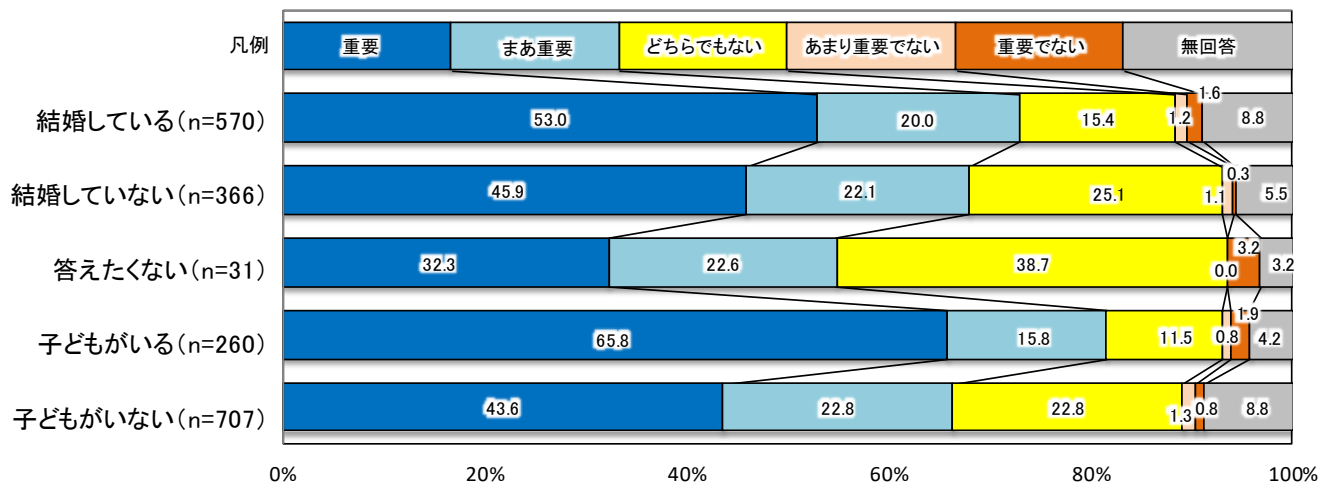
・ 小児医療体制の充実の満足度について、「子どもがいる」では「満足」「まあ満足」の合計が 28.0%、「やや不満」「不満」の合計が 41.6%と満足・不満足のどちらの割合においても最も高くなっている。「子どもがいない」では「どちらでもない」が最も高くなっている。

【小児医療体制の充実×満足度】



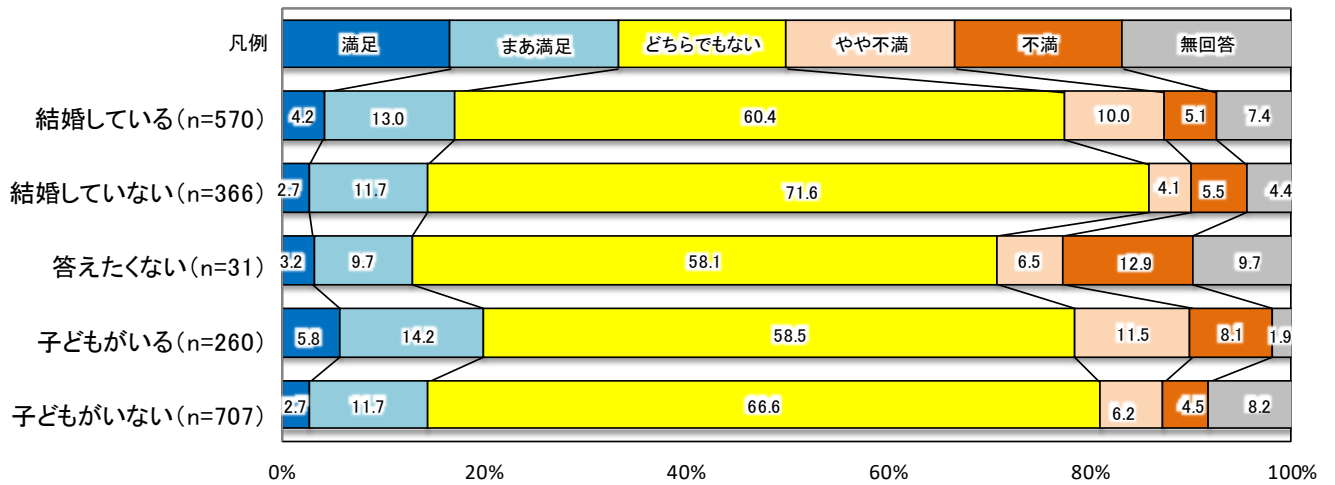
・ 小児医療体制の充実の重要度について、全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では81.6%と8割を超えて高くなっている。

【小児医療体制の充実×重要度】



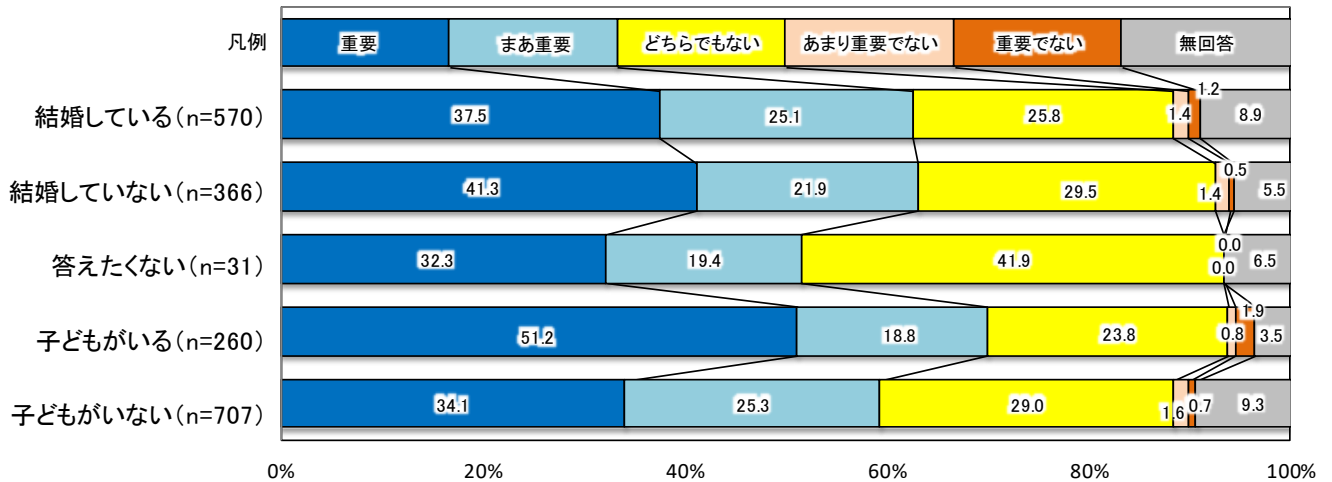
・ 母子保健事業の満足度について、全ての回答者で「どちらでもない」が最も高くなっている。

【母子保健事業×満足度】



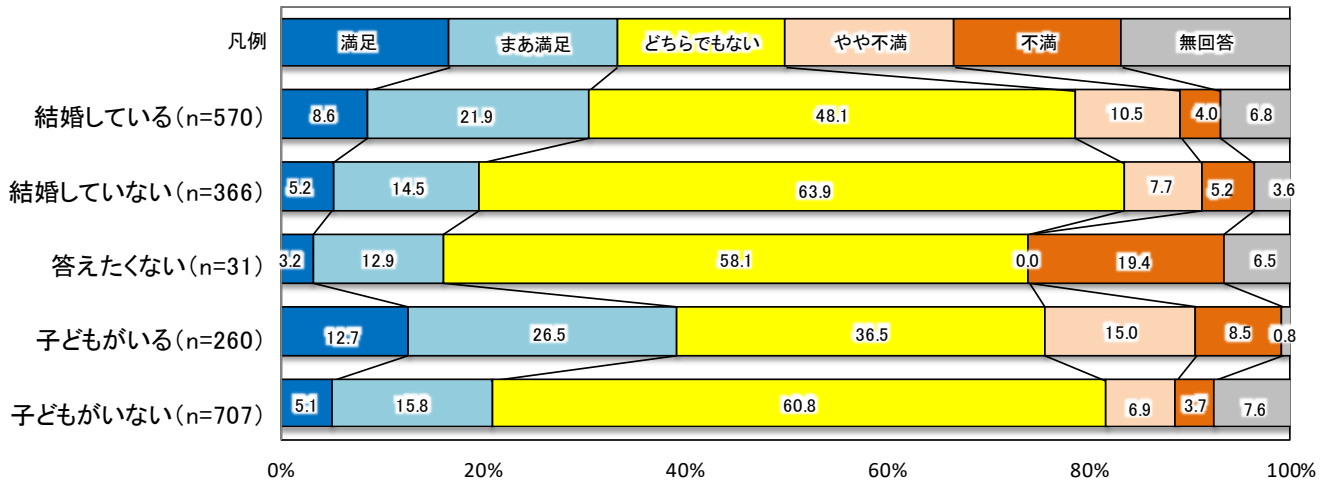
・ 母子保健事業の重要度について、「答えたくない」を除く全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では70.0%と高くなっている。

【母子保健事業×重要度】



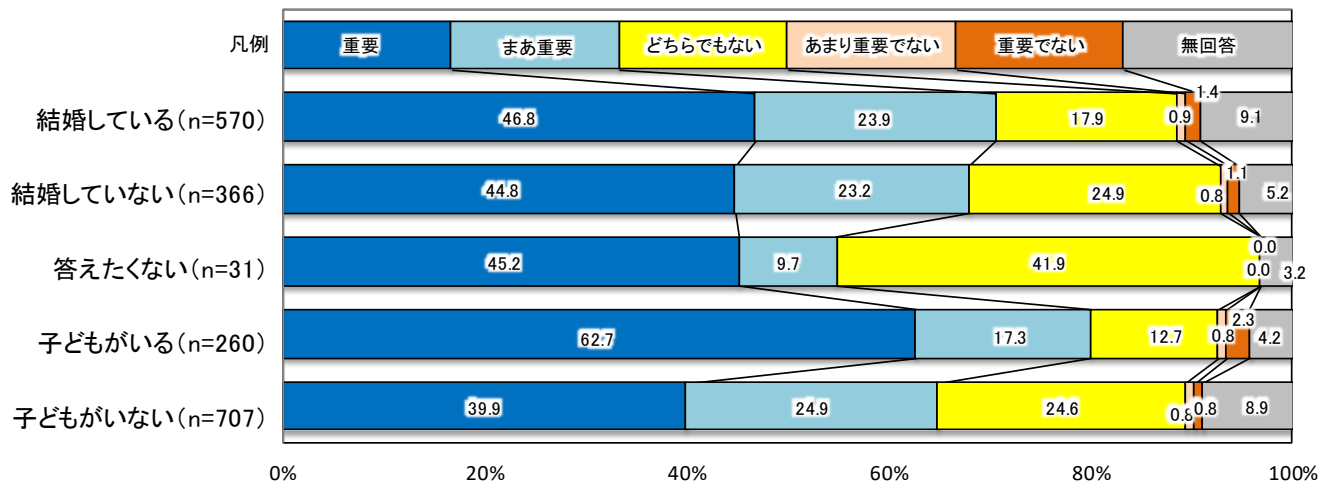
- 子育て支援事業の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子どもがいる」39.2%となっている。「子どもがいない」では「どちらでもない」が半数前後の割合を占めている。

【子育て支援事業×満足度】

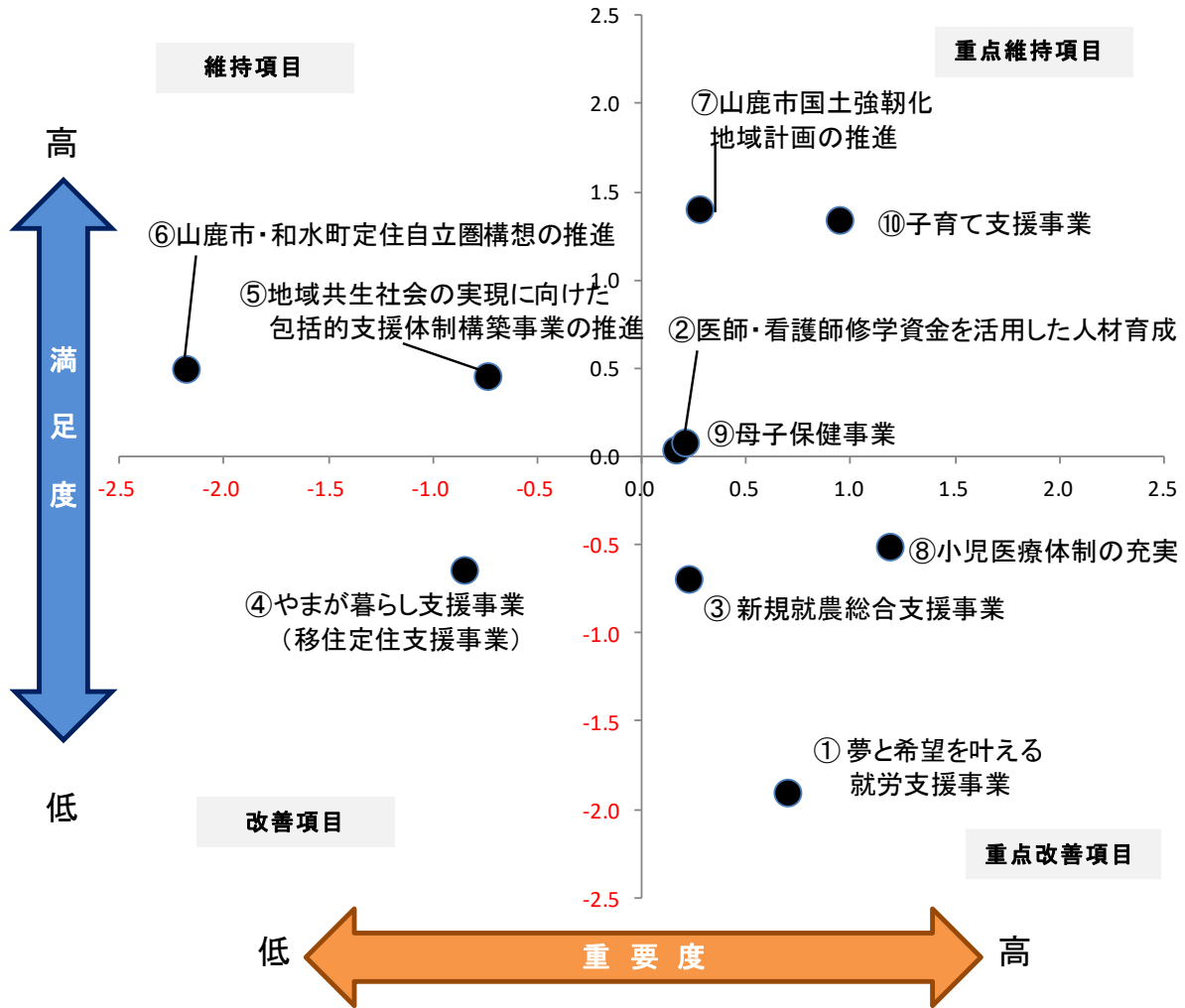


- 子育て支援事業の重要度について、全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっており、特に「子どもがいる」では80.0%と高くなっている。

【子育て支援事業×重要度】



## 人口政策における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
⑥山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進	-2.174	0.491	維持項目
④やまが暮らし支援事業(移住定住支援事業)	-0.846	-0.648	改善項目
⑤地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業	-0.728	0.452	維持項目
② 医師・看護師修学資金を活用した人材育成	0.170	0.031	重点維持項目
⑨ 母子保健事業	0.219	0.073	重点維持項目
③新規就農総合支援事業	0.229	-0.701	重点改善項目
⑦山鹿市国土強靱化地域計画の推進	0.284	1.392	重点維持項目
①夢と希望を叶える就労支援事業	0.701	-1.910	重点改善項目
⑩子育て支援事業	0.952	1.336	重点維持項目
⑧小児医療体制の充実	1.192	-0.516	重点改善項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

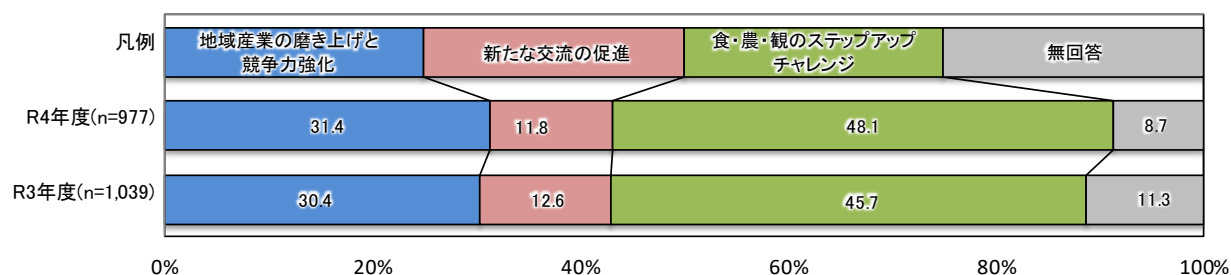
【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

【重点改善項目】 重要度が高いにもかかわらず市民から満足されていない項目。

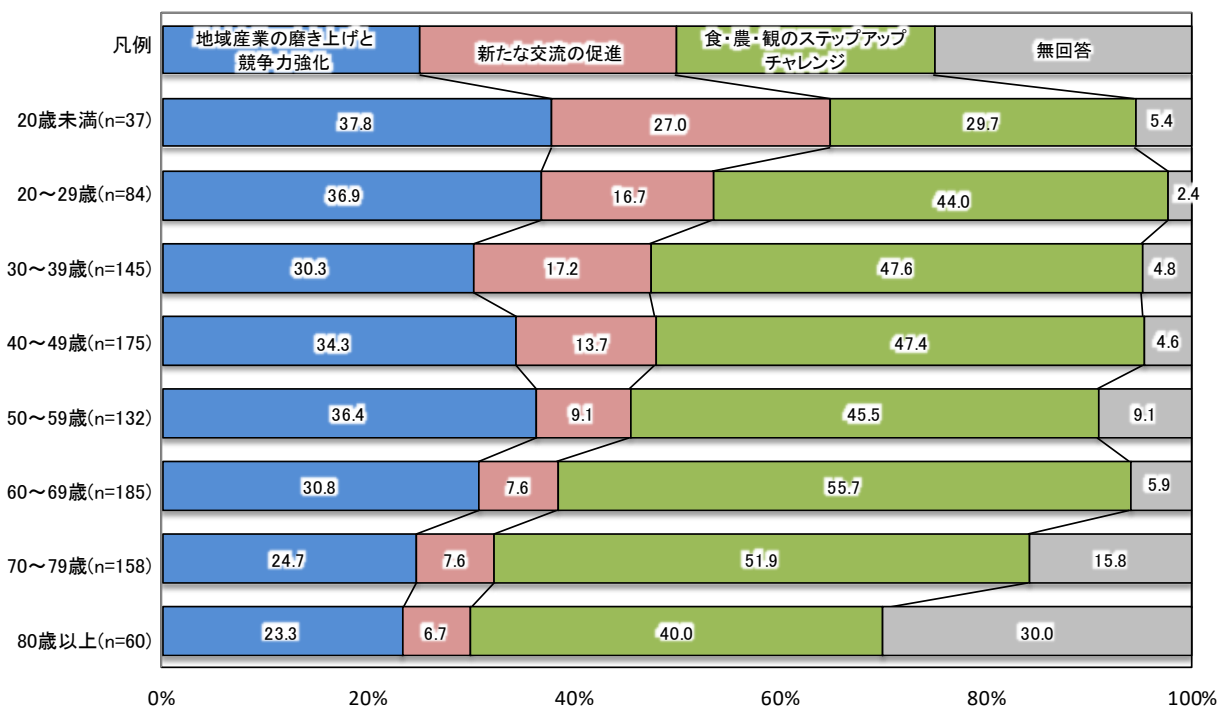
## 経済政策について（充実して欲しい取組）

- ・ 経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が48.1%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」31.4%、「新たな交流の促進」11.8%となっている。R3年度と比べ大きな差は認められない。
- ・ 年代別では、60代で「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が55.7%と他の年代より高くなっている。また20歳未満、20代、30代では「新たな交流の促進」の割合が他の年代より高くなっている。

【問 12 山鹿市総合戦略における、経済政策で  
もっとも充実して欲しい取組について】(全体)



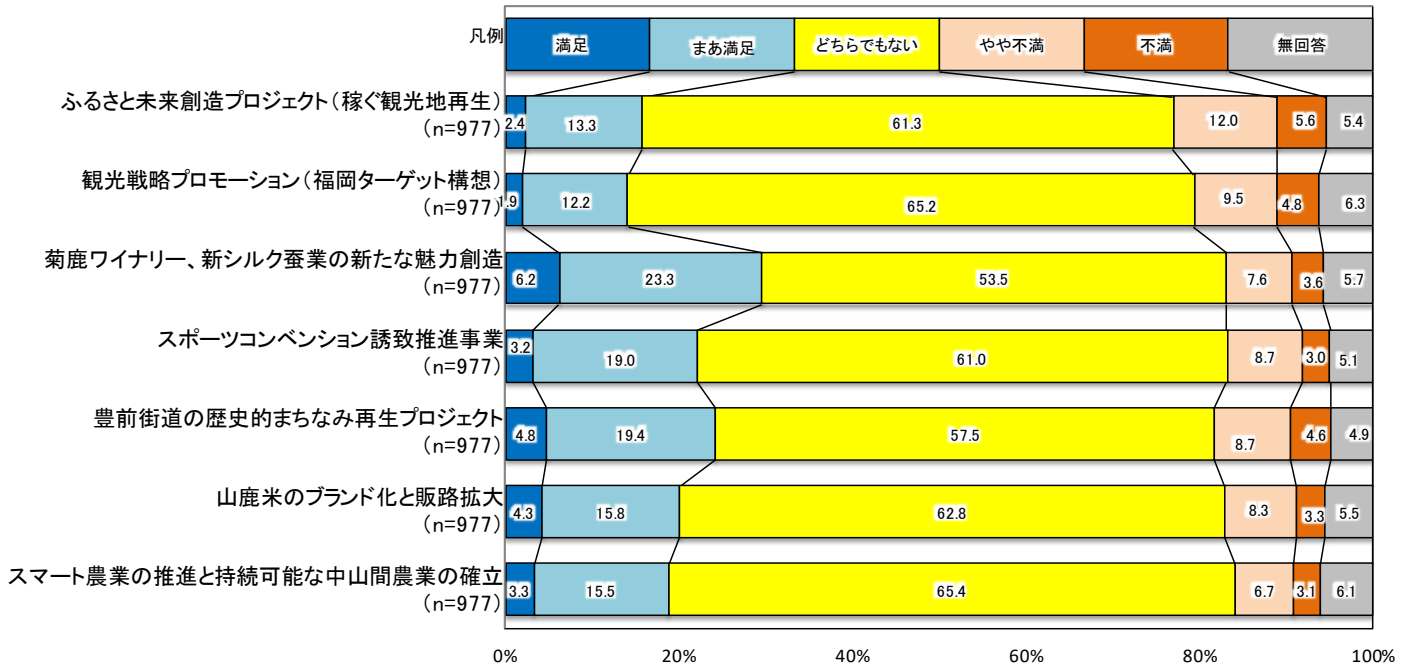
【問 12 山鹿市総合戦略における、経済政策で  
もっとも充実して欲しい取組について】(年代別)



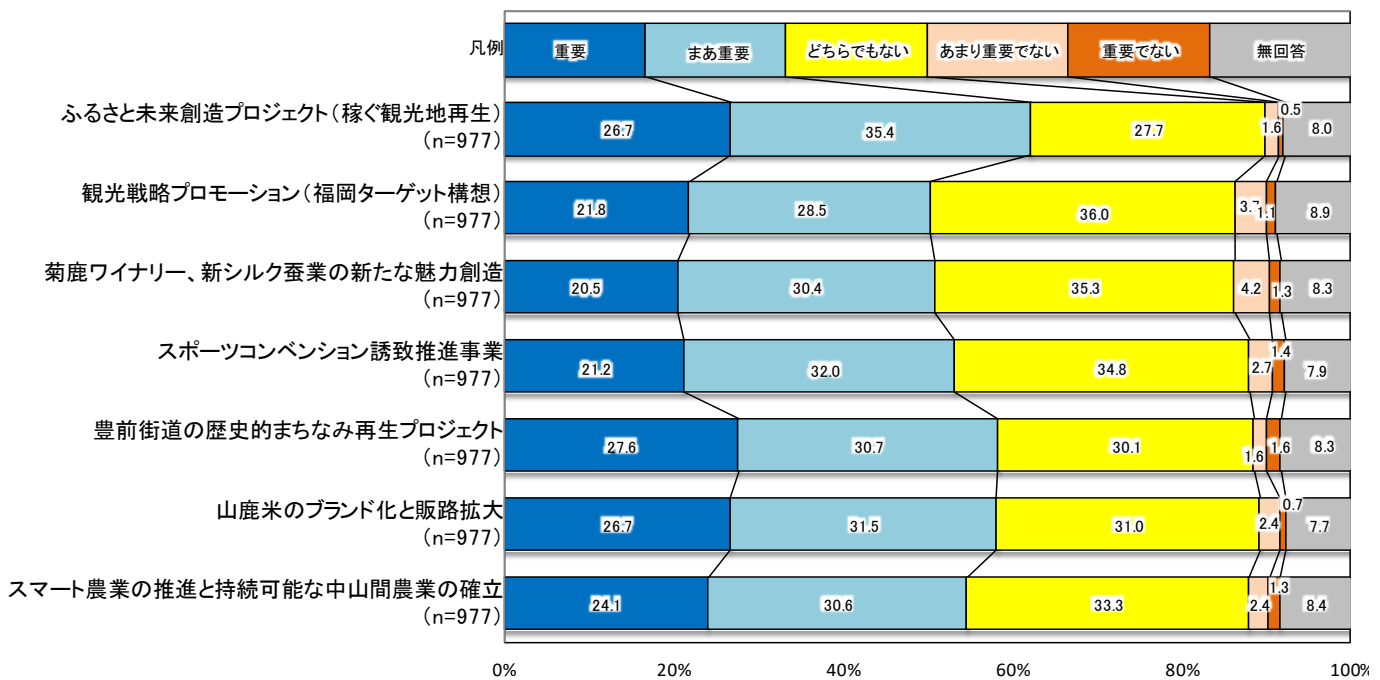
## 経済政策について（満足度と重要度）

- ・ 経済政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」の29.5%。「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」の17.6%となっている。
- ・ 経済政策の重要度について、全ての項目で「重要」「まあ重要」の合計が5割を超えて高く、その中でも「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」は62.1%で最も高い。

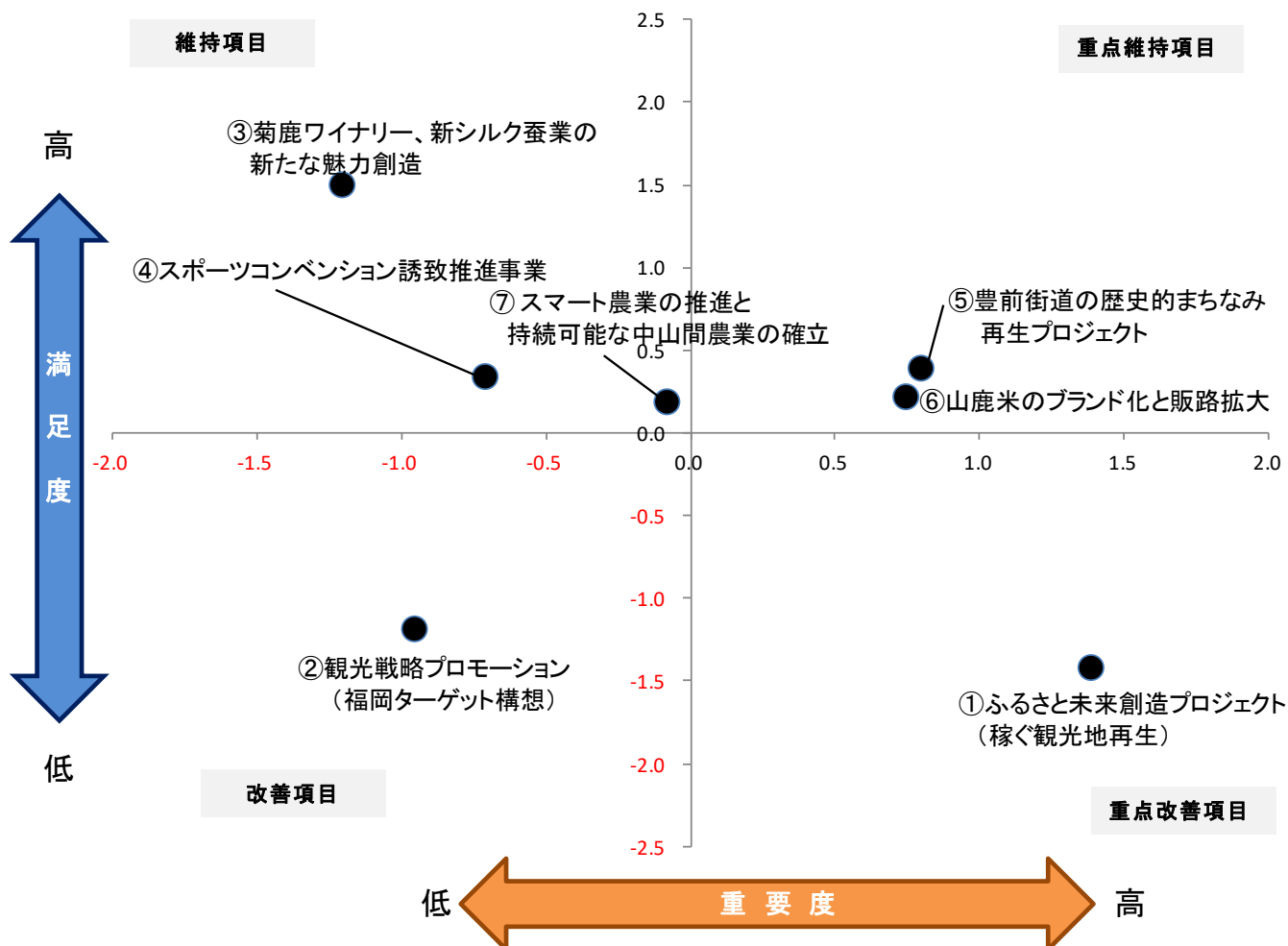
【問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の満足度】



【問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の重要度】



## 経済政策における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
③菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造	-1.204	1.494	維持項目
②観光戦略プロモーション(福岡ターゲット構想)	-0.952	-1.187	改善項目
④スポーツコンベンション誘致推進事業	-0.708	0.340	維持項目
⑦スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立	-0.079	0.182	維持項目
⑥山鹿米のブランド化と販路拡大	0.751	0.209	重点維持項目
⑤豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト	0.804	0.383	重点維持項目
①ふるさと未来創造プロジェクト(稼ぐ観光地再生)	1.388	-1.421	重点改善項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

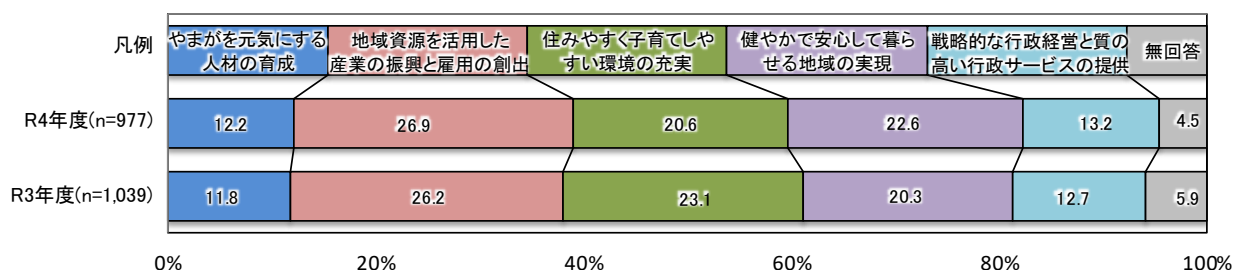
【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

【重点改善項目】 重要度が高いにも関わらず市民から満足されていない項目。

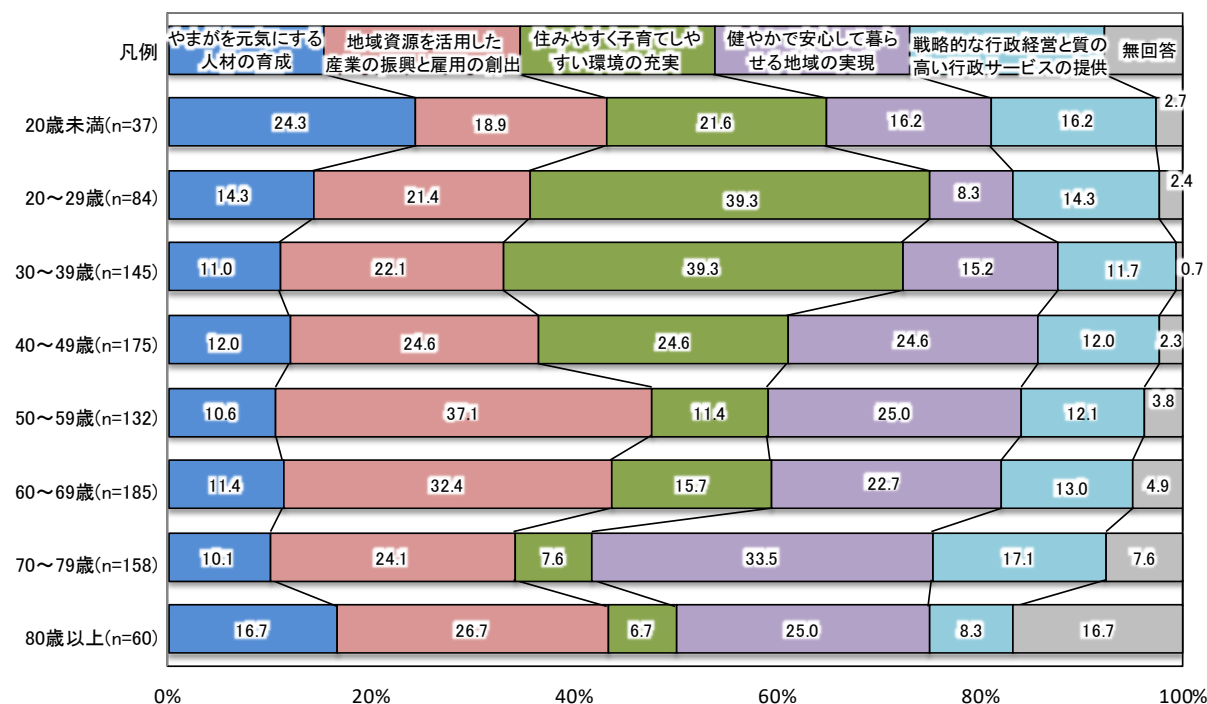
## 山鹿市総合計画について（将来都市像実現のために重要と思われるもの）

- 将来都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「健やかで安心して暮らせる地域の実現」22.6%、「住みやすく子育てしやすい環境の充実」20.6%となっている。R3年度と比べ大きな差は認められない。
- 将来都市像実現のために重要と思うものについて、年代別では、20歳未満では「やまがを元気にする人材の育成」、20代から40代までは「住みやすく子育てしやすい環境の充実」、40代から60代、80歳以上では「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」、70代では「健やかで安心して暮らせる地域の実現」の割合が最も高くなっている。

【問 14 「人輝き飛躍する都市まちやまが」実現のために、  
もっとも重要と思われるものについて】(全体)



【問 14 「人輝き飛躍する都市まちやまが」実現のために、  
もっとも重要と思われるものについて】(年代別)

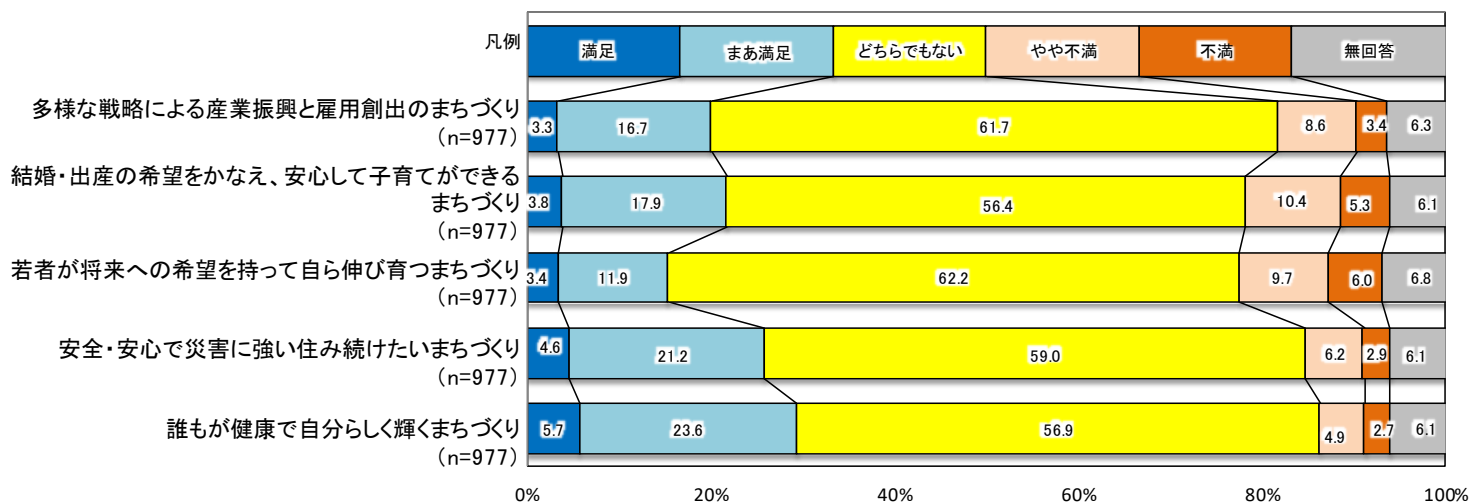




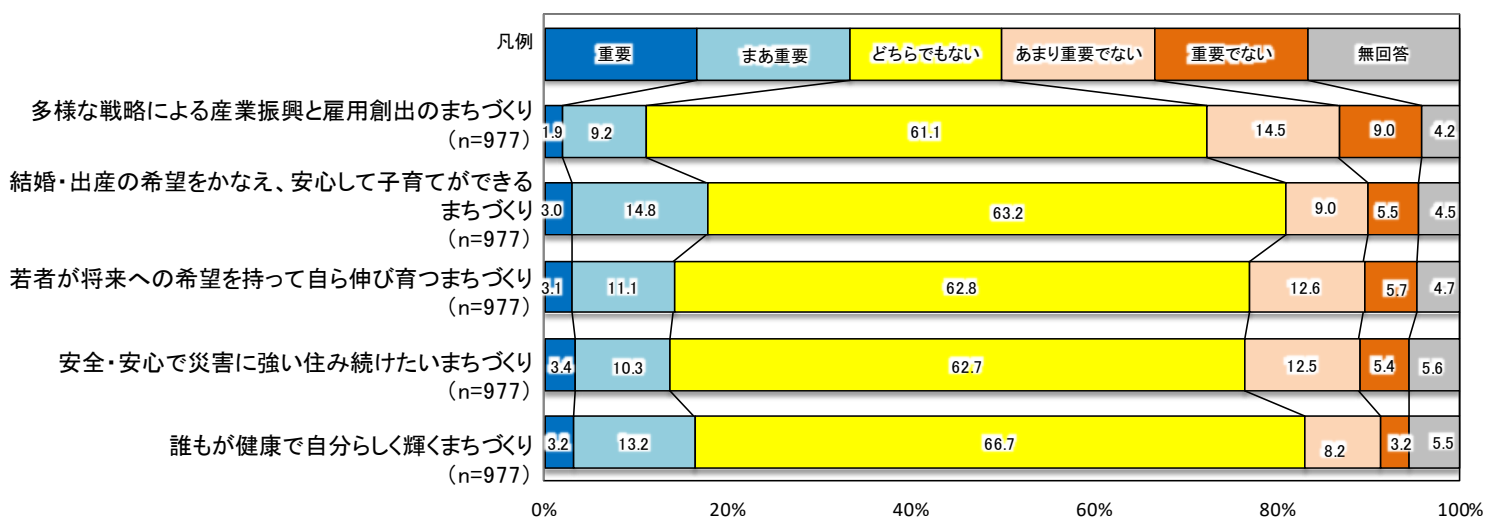
## 山鹿市総合計画について（満足度と重要度）

- 総合計画の先導施策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」29.3%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」及び「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」の15.7%となっている。
- 重要度について、「重要」「まあ重要」の合計が最も高いのは「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」17.8%、「あまり重要でない」「重要でない」の合計が最も高いのは「多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり」23.5%となっている。

【問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の満足度】

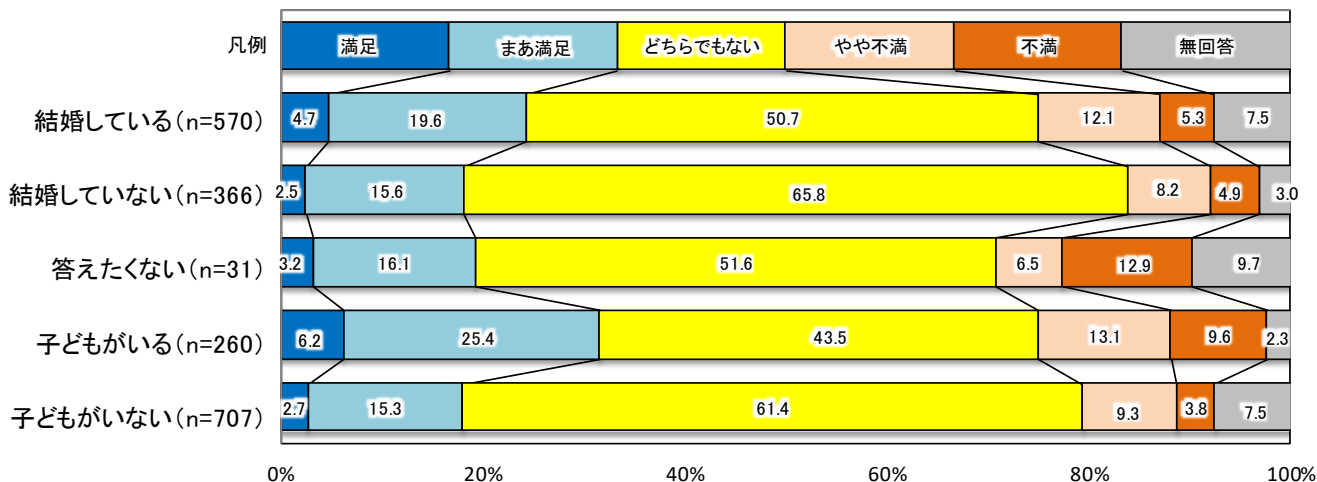


【問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の重要度】



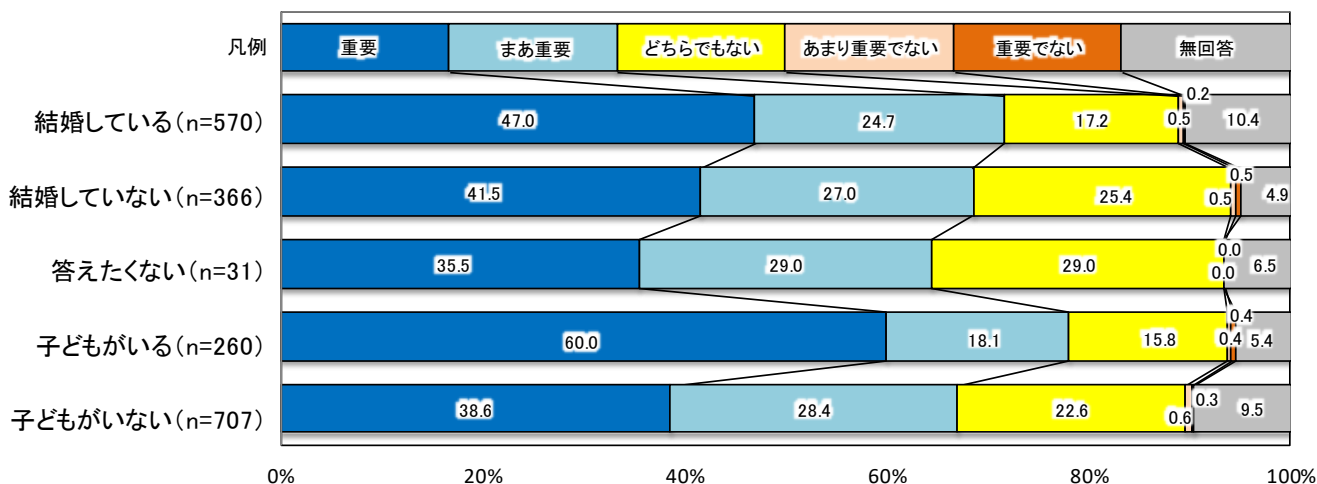
- 結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの満足度について、全ての回答者で「どちらでもない」が最も高くなっている。「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子どもがいる」31.6%となっている。

**【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×満足度】**

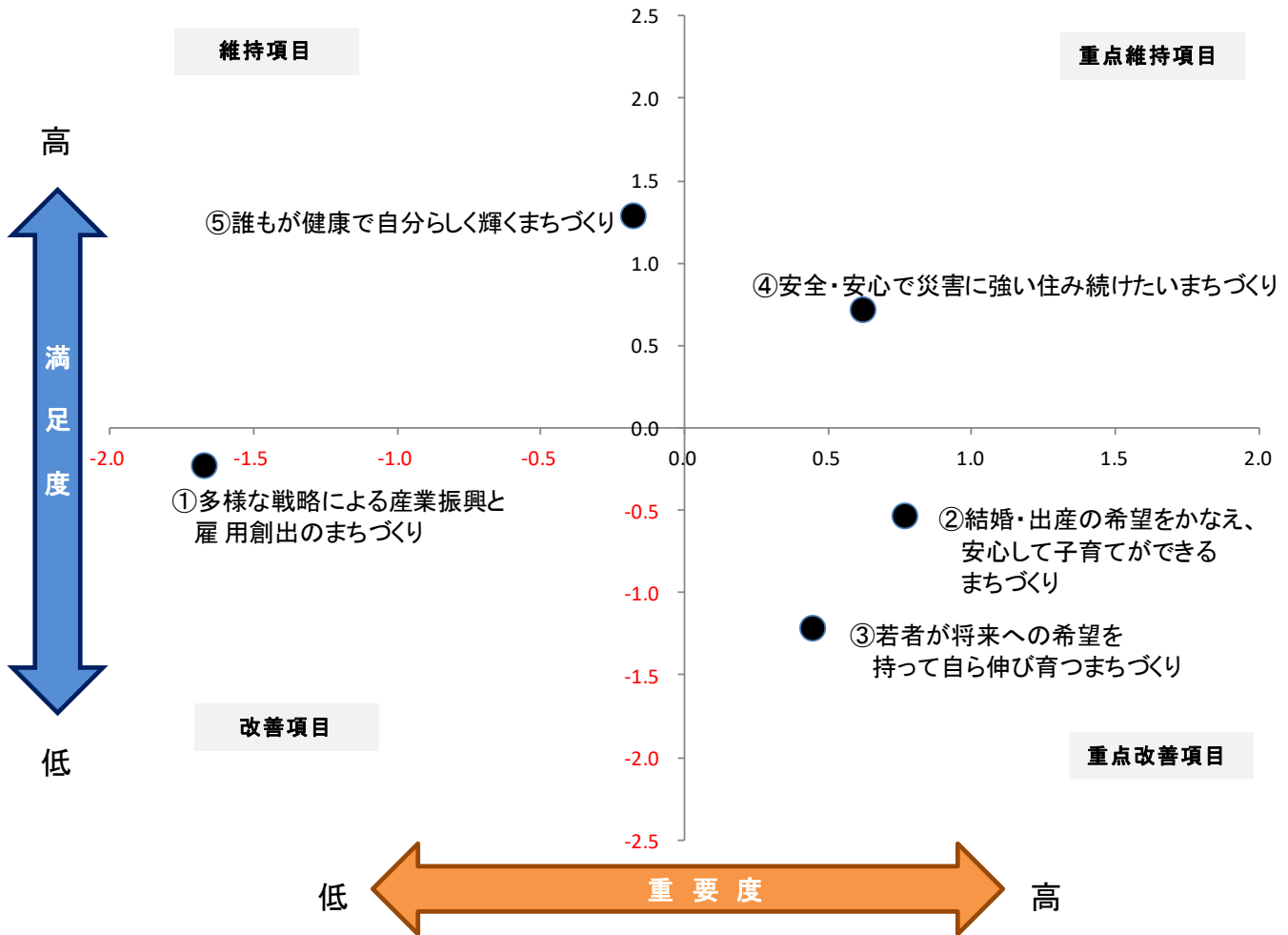


- 結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの重要度について、全ての回答者で「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では78.1%で高くなっている。

**【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×重要度】**



## 山鹿市総合計画(先導施策)における満足度及び重要度の相関図



	重要度	満足度	象限
①多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり	-1.669	-0.231	改善項目
⑤誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり	-0.174	1.286	維持項目
③若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり	0.448	-1.222	重点改善項目
④安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり	0.622	0.710	重点維持項目
②結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり	0.773	-0.543	重点改善項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

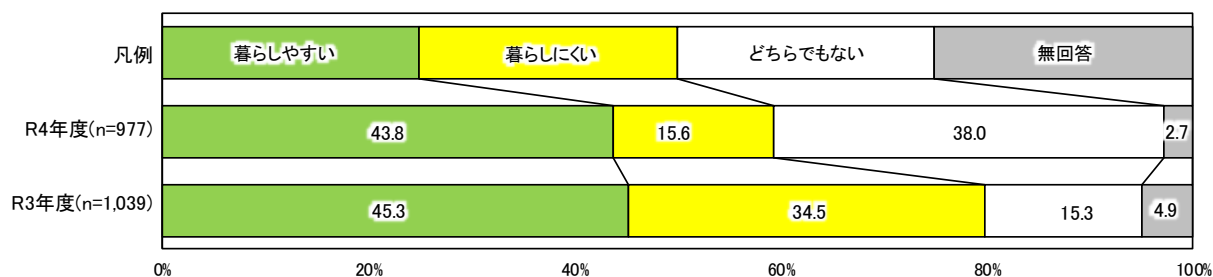
【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

【重点改善項目】 重要度が高いにもかかわらず市民から満足されていない項目。

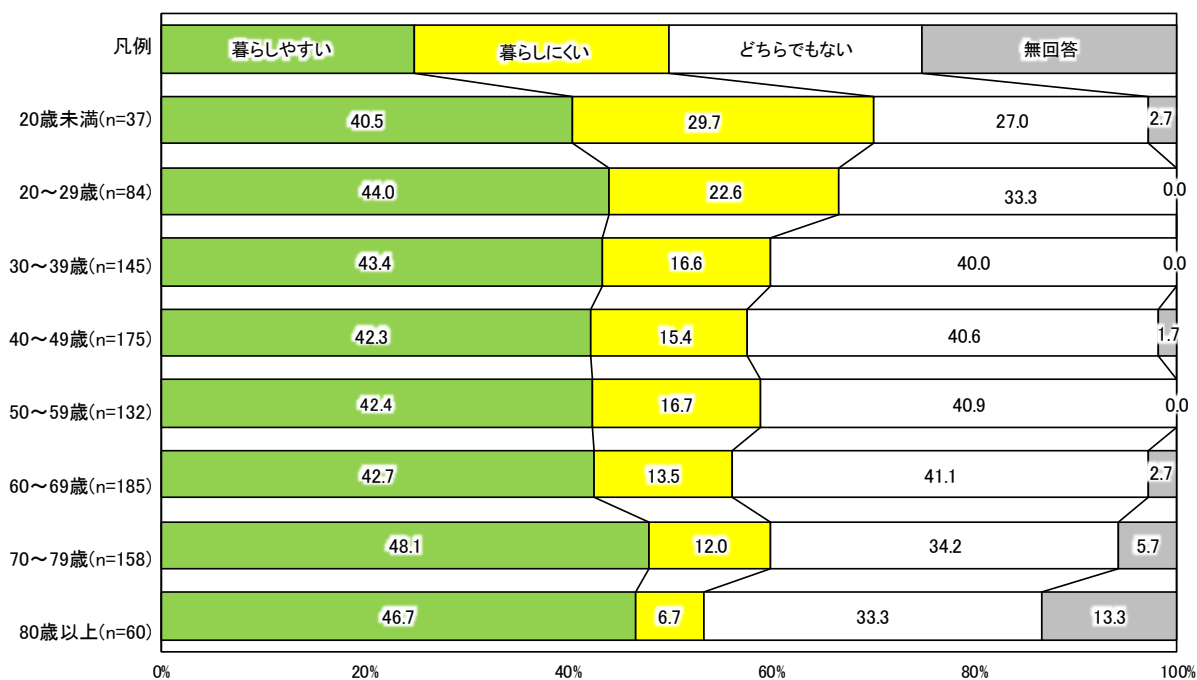
## 山鹿市に対する考えについて（暮らしやすさ）

- 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が43.8%、「暮らしにくい」が15.6%、「どちらでもない」が38.0%となっている。R3年度と比較すると、「暮らしにくい」が減少し、「どちらでもない」が増加している。
- 年代別では、全ての年代で「暮らしやすい」の割合が最も高くなっている。「暮らしにくい」の割合が20歳未満で最も高く、年代が高くなるにつれて低くなっていく傾向が認められる。

【問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか】(全体)



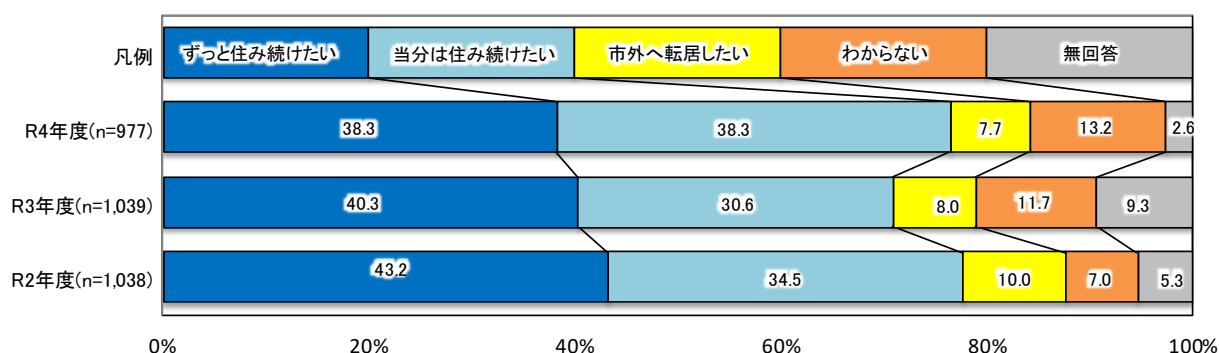
【問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか】(年代別)



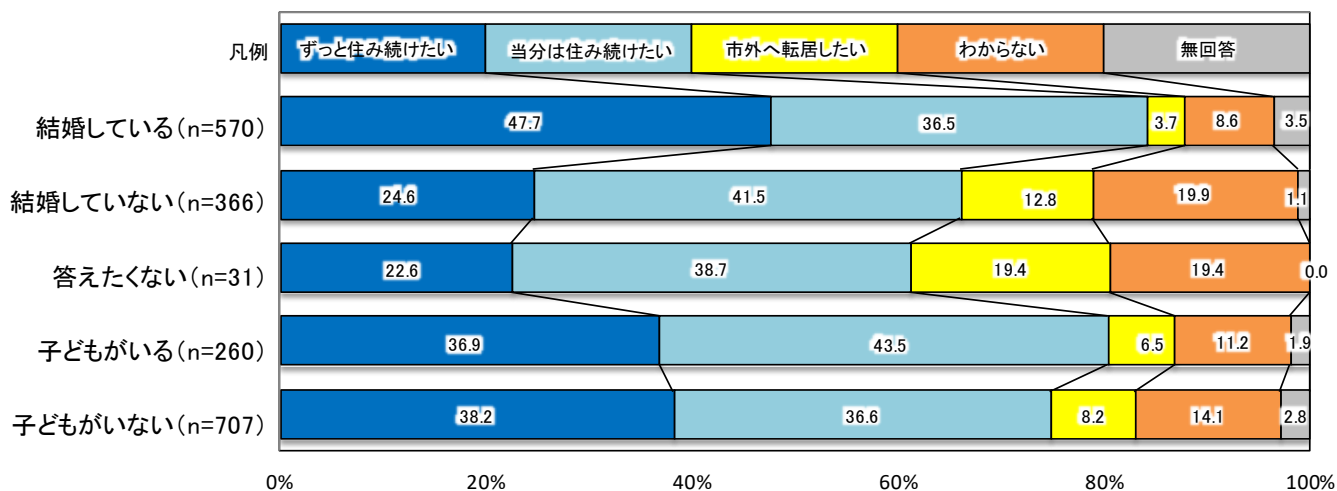
## 山鹿市に対する考えについて（今後の居住意向）

- 山鹿市での居住意向については、「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」が76.6%で7割以上の方が住みたいと回答している。R2年度及びR3年度と比較すると、「ずっと住みたい」「当分は住みたい」の割合が微増し、「市外へ転居したい」が微減していることが認められる。
- 子どもの有無別では子どものいる方の割合がやや高い。結婚の有無別では、「ずっと住みたい」「当分は住みたい」の合計が結婚している方の割合より高く、8割を超えている。

【問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか】(全体)



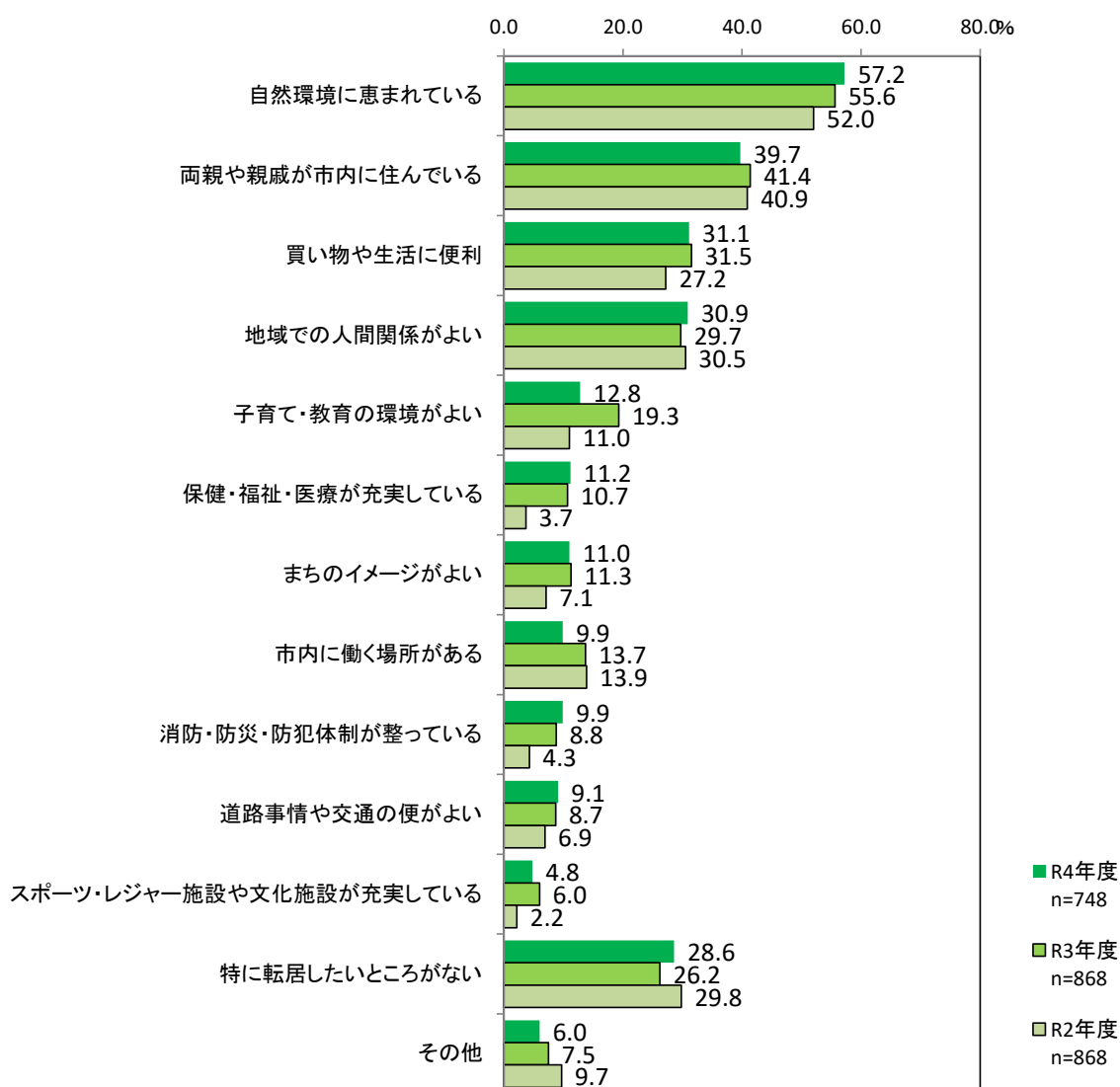
【問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか】(結婚の有無・子どもの有無別)



## 山鹿市に対する考えについて（住み続けたい理由）

- ・ 「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した方の理由として、「自然環境に恵まれている」の割合が57.2%と最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.7%、「買い物や生活に便利」31.3%となっている。
- ・ R2年度とR3年度との比較では、「自然環境に恵まれている」が高くなっていく傾向が認められる。
- ・ その他の意見として、「治安が特に良い」「災害が少ないため」「今の生活が大事だから」「高齢だから」「可もなく不可もないといった感じです」という意見があった。

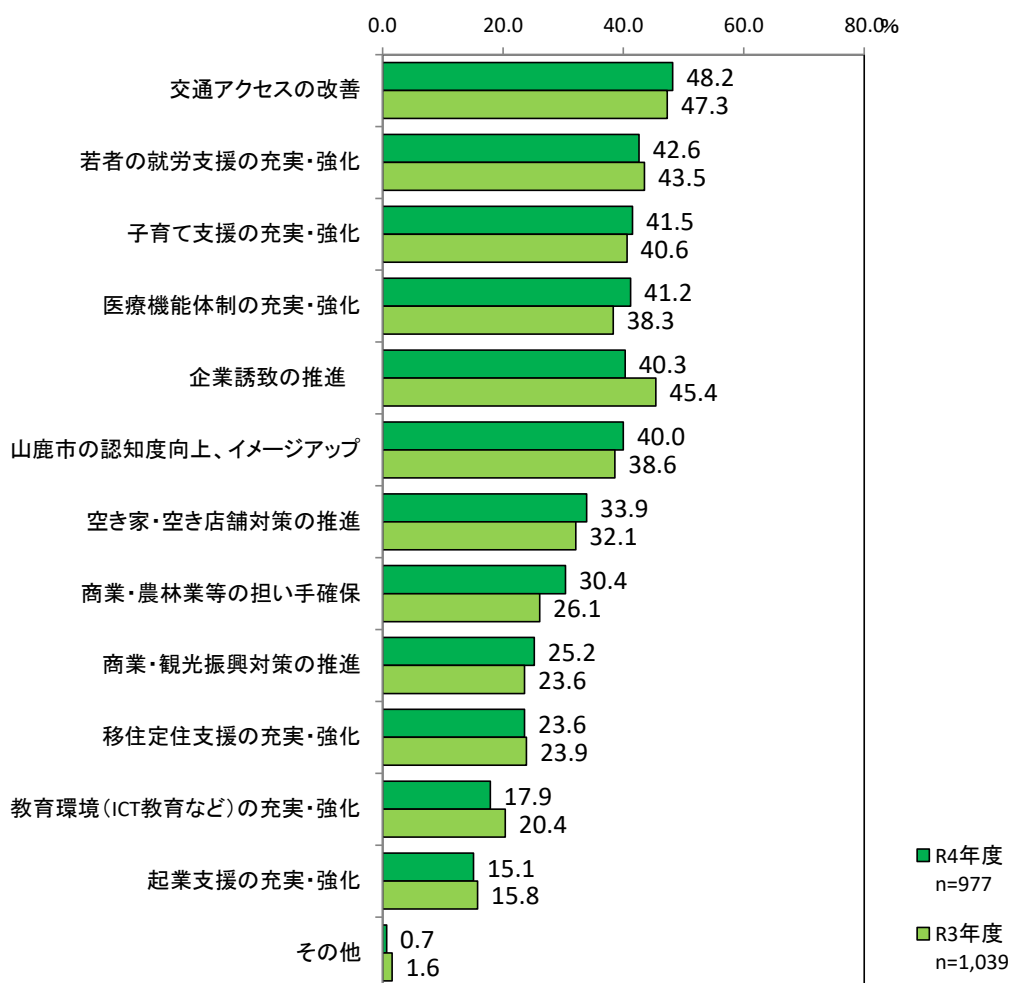
【問18 住み続けたい理由（複数回答）】(全体)



## 山鹿市に対する考えについて(「選ばれる山鹿」になるための重要な取組)

- ・ 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組について、「交通アクセスの改善」が48.2%と最も高く、次いで「若者の就労支援の充実・強化」42.6%、「子育て支援の充実・強化」41.5%「医療機能体制の充実・強化」41.2%となっている。
- ・ その他の意見として、「失敗しても良いから色々のイベントを考えて欲しい」「利用可能な空家を撤去し、使用可能価値がある建物を速やかに活かす」「何でも良いので一つこれはという強みをつくる(例に子育てでは県内のどこの市町村よりも充実しているなど)」「今後一人一人がやらなくてはいけないと思うことは出来るかぎり、全てやってみる事が大事。良いも悪いも終わって考えれば少しずつ前に進むと思う」「観光や商業農業に力をいれるには20年後の未来を見据えて子どもや担い手育成につながり大事だとおもう。人がいなければどんな政策も効果が薄い。人が来る住む町を目指して欲しい」という意見があった。

【問19 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるため、特に重要と思われる取組】(全体)



### <山鹿市の現状について>

- ・ 人口減少については、「危機感がある」が36.9%、「少し危機感がある」が35.0%となっており、約7割が危機感を感じている。R3年度と比較しても大きな差は認められない。
- ・ 元気度については、前回と同様に、「活気はない」「あまり活気はない」との認識が6割近くになっている。
- ・ 農林業の現状についても前回と同様に、「衰退している」「少し衰退している」の割合が5割を超える結果となっている。
- ・ 観光産業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」が28.6%となり、前回より5ポイント以上増加している。

### <人口政策について>

- ・ 人口政策で充実して欲しい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が30.0%で最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」25.2%、「移住定住の促進」20.8%となっている。R3年度と比較しても大きな差は認められない。
- ・ 人口政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子育て支援事業」の25.8%となっており、これに「山鹿市国土強靱化計画の推進」24.1%、「小児医療体制の充実」22.8%が続く。「小児医療体制の充実」については不満足も同程度の23.8%となっている。
- ・ 重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）として、「夢と希望を叶える就労支援事業」、「新規就農総合支援事業」、「小児医療体制の充実」が挙げられる。

### <経済政策について>

- ・ 経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が48.1%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」31.4%、「新たな交流の促進」11.8%となっている。R3年度と比べ大きな差は認められない。
- ・ 経済政策の満足度について「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」となっている。
- ・ 経済政策の重要度について、全ての項目で「重要」「まあ重要」の合計が5割を超えて高く、その中でも「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」は62.1%で最も高くなっている。
- ・ 重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）としては、「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」が挙げられる。



### <山鹿市総合計画について>

- ・ 将来都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「健やかで安心して暮らせる地域の実現」22.6%、「住みやすく子育てしやすい環境の充実」20.6%となっている。R3 年度と比べ大きな差は認められない。
- ・ 総合計画の先導施策の満足度についてみると、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」29.3%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」及び「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」の 15.7%となっている。
- ・ 重要度については、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」の割合が最も高くなっている。
- ・ 重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）としては、「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てできるまちづくり」が挙げられる。

### <山鹿市に対する考えについて>

- ・ 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が 43.8%、「暮らしにくい」が 15.6%、「どちらでもない」が 38.0%となっている。R3 年度と比較すると、「暮らしにくい」が減少し、「どちらでもない」が増加している。
- ・ 「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」が 76.6%で 7 割台の方が住みたいと回答している。R2 年度及び R3 年度と比較すると、「ずっと住みたい」の割合が微減傾向であることが認められる。
- ・ 「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と回答した方の理由としては、「自然環境に恵まれている」の割合が 57.2%で最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.7%、「買い物や生活に便利」31.3%となっている。R2 年度と R3 年度との比較では、「自然環境に恵まれている」が高くなっていく傾向が認められる。
- ・ 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組について、「交通アクセスの改善」が 48.2%と最も高く、次いで「若者の就労支援の充実・強化」42.6%、「子育て支援の充実・強化」41.5%「医療機能体制の充実・強化」41.2%となっている。